

土地改良施設等を活用したCO₂ネットゼロヴィレッジ

再生可能エネルギーが地産地消されている農村地域「CO₂ネットゼロヴィレッジ」の実現を目指します。

農村地域では人口減少や高齢化により地域コミュニティの衰退が危惧されており、地域資源を活用した地域振興が必要になっています。また、地球温暖化による気象災害が農作物や農地・農業用施設に大きな被害をもたらしており、農林水産業でも環境負荷の低減が求められています。

そこで滋賀県では、農村地域に潜在する太陽光や小水力などの再生可能エネルギーの地産地消を推進する「滋賀県CO₂ネットゼロヴィレッジ推進方針～生活に溶け込んだCO₂ネットゼロによる農村地域の活性化に向けて～」を策定します。「推進方針」では再生可能エネルギーの取組を通じた「温室効果ガス排出量の削減」・「エネルギーの自給率向上」・「災害レジリエンスの向上」・「地域の魅力向上」を目指します。

基本理念

- ◆ 環境に配慮した暮らしができる、魅力的な滋賀の農村づくり
- ◆ 災害にも耐える、エネルギーの自立した滋賀の農村づくり

視点

再生可能エネルギーを
「地域の課題を資源と捉え課題解決に」
「売電ではなく地産地消へ」
「地域住民が主体」 となった取組によって

ベース

農村地域にあふれる様々なエネルギーを活用

目指すべき姿

「生活に溶け込んだ形で」
CO₂ネットゼロ社会が
実践されている農村地域

●「CO₂ネットゼロヴィレッジ」の実現に向けた取組

中山間地の農村地域では農地法面の草刈作業が農業者の負担となっています。そのような農地法面に太陽光パネルを設置することで、草刈りなど維持管理負担の軽減を図るとともに、発電した電力は草刈機や獣害柵などの農業用機械に利用されています。また、地域行事や災害時の独立電源として利用するなど、農業分野だけでなく生活分野でも利用され、地域に根付いた再生可能エネルギーの地産地消が実践されています。

【日野町西明寺地域での取組】



太陽光パネル・太陽光シート



ポータブルバッテリー



電動草刈機などの
農業用機械に利用



防災対策として非常用電源に利用



地域行事の音響や電灯の
電源に利用



獣害電気柵などの
獣害対策機器に利用